

単元名 買えますか？ 買えませんか？

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 買えるか買えないかを判断する仕方を理解し、場面に応じて、買えるか買えないかを判断することができる。

(2) 買えるか買えないかの理由を、根拠を挙げて説明することができる。

(3) 買えるか買えないかを判断しようとする。

標準的な展開例

02040210_001

【準備等】お金の模型

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 買えるか買えないかを判断し、その理由を根拠を挙げて説明する。[p. 64・p. 65]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 1つが100円で買えるかどうかをもとに考えよう。 ○ 1つが100円で買える「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 1つが100円で買えない「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物場面を取り上げ、日常生活との関連付けをすることにより意欲化を図る。 ・ 教科書拡大図を見て、状況を把握させる。 ・ 98円を100円と置き換えることに抵抗のある児童もいると思われるので、お金の模型などを使って視覚的に捉えさせるようにする。 ・ ペア活動をするとうい。 ・ 買えるか買えないかの根拠が、説明できるようにさせる。 <p>【評】 買えるか買えないかを判断し、理由を根拠を挙げて説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元では、計算で判断させるのではなく、範囲の見積もりで判断することを学習する。日常生活の中では、正確な計算の数値を求める場面ばかりではないことに気付かせ、概算により判断することのよさを感じさせたい。

本単元の学習は、3年生の「買えますか？買えませんか？」の学習や、4年生の「がい数とその計算」の学習につながるため、それを踏まえた指導が必要である。